

2021 年度実施概要

学校名

北区立東十条小学校

採択活動名

海育科 5年：伝え合おう海の生き物 6年：海と生きる

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海の豊かさって何だろう？	5年	海育科
2. 与論の海に学ぶ	6年	海育科
3.		

取り組みの概要

本校は海に隣接していない環境にあるため、日常生活の中で海を身近に感じる事が難しい。しかし、一方で鹿児島県の与論島と40年以上の歴史がある。このような内陸にありながらも、海と密接に関わっている与論島とのつながりを生かし単元開発に取り組んだ。学習を進めるにあたり、以下の3点を拠り所として考え、学習を実施した。

①本校の特色ある教育活動と結びつけることができる学習

5年「海の豊かさって何だろう？」6年「与論の海に学ぶ」

・・・「海を守る」活動について理解を深めるため、本校が姉妹校盟約を結ぶ与論島を代表児童が訪問し、現地で見聞きしたことや、体験したことから学んだことを全校集会で発表し、共有した。

②ICTを活用した学習

6年「与論の海に学ぶ」

・・・交流のある与論島の海岸がきれいなことを知り、きれいな海を保つために必要なことを予想し、調べる活動を行った。GIGAスクール事業で導入された、一人一台パソコンを活用し、インターネットで与論島の海について調べる活動や、与論島の茶花小学校の児童と、拾い箱プロジェクトの発起人の池田龍介さんへのオンラインインタビューを通して、海と暮らす人々の思いを知り、地球環境への関心と、保全する態度を養った。

③本区の宿泊学習で体験できることのできる学習

5年「海の豊かさって何だろう？」

・・・2泊3日の岩井自然教室で、お茶の水女子大 SEC 及び海洋教育センターの支援を受けて行った海の生き物に触れる活動を行った。

活動中の写真

